

研究構想シート		学校名	雲南市立西日登小学校
		氏名	水師 萌
A 研究主題 かかわり合い 人間関係を深め 自分たちで生活をつくる にしっ子の育成～認め合い よさを発揮し合う 話し合い活動を通して～			
B 研究の目的 自分の思いを相手にしっかり伝えること、互いの意見を認め合い、折り合いをつけながらみんなで新しいアイデアを創り上げていく児童の育成。			
C 子どもの実態 【児童の強み】 ・素直 ・あいさつができる ・困っている友だちを助けてあげることができる ・きまりを守ることができる ・自分たちで進める力がある ・決められたことはきちんとできる 【児童の弱み】 ・児童の人間関係やこれまでの経験から、新しいアイデアが出にくい ・自分で考えて動くことがしづらい ・自分がどうしたいかという思いを相手に伝えることを遠慮する ・思いやりすぎて意見をひっこめてしまう	E 手立て・内容（研究仮説） 学級活動や児童会活動（委員会活動やなかよし班活動）などの話し合い活動において、児童の発意・発想を生かした活動の場を保障し、さらに互いの思いを大切にしたい言語活動や支援の在り方を工夫すれば、友だちの多様な意見を受け入れ、よりよい生活を創りあげようとする子どもが育つであろう。		D めざす子どもの姿 【人間関係形成】 ・友だちと助け合ったり、協力したりしようとする姿 ・互いの意見の違い（メリット・デメリット）を考えながら話し合い活動を進めようとする姿 【社会参画】 ・自分からよりよい集団をつくろうと働きかける姿 ・自分たちの身の回りの課題をもとに、みんなのためになる解決方法を考えることができる姿 【自己実現】 ・自分のよさや課題を意識し、自分に合った具体的な目標を立てる姿 ・立てた目標に向かって、チャレンジする姿
	F 検証方法 ・事前・事後のアンケートの結果から、児童の意識や思いの変容を見取る。 ・話し合い活動や言語活動（さくらタイム）における児童の変容を見取る。		
	G 研究計画 ○今年度の研究について共通理解を図る ○今年度の重点事項についての協議・決定 ○さくらタイムの実施（年間を通して行う） ○1学期授業研究 ○児童アンケートの実施・集計（7月頃） ○2学期授業研究 ○児童アンケートの実施・集計（12月頃） ○3学期授業研究 ○振り返り		